

## 5月18日・全校朝会

みなさん、おはようございます。

運動会まで、あと少しになりました。どの学年も、ダンスやソーラン節など、表現の練習をがんばっていますね。体育館から聞こえてくる音楽や、みんなのかけ声を聞くたびに、「今年の運動会もすばらしいものになる」と感じています。

今日は、80人から100人といった大人数で表現することの意味について考えてみたいと思います。

ダンスでもソーラン節でも、ひとりで踊るときのと、100人で踊るのとでは、見える景色がまったく違います。

ひとりだけでは小さくても、みんなの気持ちが一つになると、校庭いっぱい大きなエネルギーが広がります。

たとえば、動きがそろった瞬間、見ている人の心に「おおっ」と響くものがあります。

それは、みんなの力が重なったときにしか生まれない特別な力です。

動きが「そろう」というのは、ただ同じ動きをすることではありません。

相手の動きを感じ取り、呼吸を合わせ、気持ちを寄せることです。

100人の心がそろったとき、

100人の気持ちがひとつになったとき、

そこに生まれる表現は、見る人の心を動かす大きな力を持ちます。

みんなが今、毎日がんばっている練習は、

その「心をそろえる」ための大切な時間なのです。

運動会の表現は、みなさんがつくる“ひとつの作品”です。

その作品は、

- ・毎日の練習で流した汗
- ・友だちと声をかけ合った時間
- ・あきらめずに続けた努力

そのすべてが積み重なってできあがります。

これから本番まで、まだ練習は続きます。

心をひとつにして、今年しかつukれない最高の表現を完成させましょう。

当日、みなさんが自信をもって踊る姿を、今からとても楽しみにしています。

お話を終わります。